

田村市指定有形文化財

もくぞう な む たい しりゅうぞう
木造南無太子立像



南無太子立像は、聖徳太子が2歳の時、東に向かって合掌し、南無仏と唱えたところ、手のひらから舍利が現れたという伝説に由来する像で、成願寺に所在する像は、高さ69㍍の一木造りで、頭部のみを割り短いています。頭部前部の内側に「さぬきのほうけう円西房」という墨書があることから、作者であろうと推測されます。

なお、成願寺は慶長14（1609）年に開山されたと伝わります。